

令和5年度 国営事業評価技術検討会の答申

7月13日(木)に開催した令和5年度第2回国営事業評価技術検討会において、北海道開発局国営事業管理委員会が諮問した令和5年度国営土地改良事業等事業評価結果に対して、別紙のとおり7月19日付で国営事業評価技術検討会から答申がありましたので、お知らせします。

北海道開発局では、国営土地改良事業の効率性及び事業実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価(再評価、事後評価)を実施しております。

事業評価を進めるに当たっては、学識経験者など専門的な知見を有する第三者から構成される「国営事業評価技術検討会」を設置し、意見を聴取することとしております。

令和5年度第2回国営事業評価技術検討会の配布資料、議事概要については、北海道開発局ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

【ホームページの掲載場所】

北海道開発局トップページ >> 農業・水産 >> 主な取組 >> 事業評価 >> 再評価・事後評価

URL : https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_seeki/slo5pa0000012d0n.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

事後評価 : 農業水産部 農業計画課 事業計画推進官 高井 直人 (内線 5513)

農業水産部 農業計画課 負担対策専門官 岡村 充博 (内線 2068)

再評価 : 農業水産部 農業整備課 課長補佐 菊池 裕貴 (内線 5573)

農業水産部 農業整備課 課長補佐 中川 裕紀 (内線 5589)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和5年7月19日

北海道開発局農業水産部長 殿
(北海道開発局
国営事業管理委員会委員長)

国営事業評価技術検討会
委員長 長澤 徹 明

令和5年度国営土地改良事業等再評価結果について (答申)

令和5年7月13日付け北開局農整第54号により諮問のあった、令和5年度国営土地改良事業等再評価結果について、別紙のとおり国営事業評価技術検討会意見を答申します。

令和5年度再評価 国営事業評価技術検討会意見

地区名	技術検討会の意見
根室	<p>本事業は、資源の有効利用や水質浄化等の多面的な機能を有する農業用排水施設の整備により、粗飼料の生産性向上と環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業の形成を目的としている。そのためには、老朽化した施設の改修によるかんがい用水の安定的な供給、並びに排水路等の整備が必要不可欠と認められる。</p> <p>本地域は、家族中心の経営で生産性の高さを維持しているが、後継者不足や肥料価格の高騰等が懸念され、より一層効率的な経営が求められる。</p> <p>そのような状況において、本事業で整備された地域では、生産性の向上と営農経費の節減が図られていることから、完了に向けた事業の推進が望まれる。</p> <p>なお、事業の遂行にあたっては、周辺環境との調和に十分配慮するとともに、一層のコスト縮減に努められたい。</p>
美唄	<p>本事業は、水稲作を中心としつつ、新たな高収益作物の導入により農業経営の安定化を図ることを目的としている。本事業による区画整理と附帯する用排水路の整備は、安定した収量と品質の確保、耕作放棄地の発生防止に必要不可欠と認められる。</p> <p>地区内では、担い手の定着及び農地の利用集積が進んでいる。</p> <p>整備済みの大区画ほ場では、大型機械の導入とともに水稲直播栽培や田畑輪換が拡大して効率的な営農が行われ、付加価値の高い農産物の生産にも取組まれている。さらに、用排水路や暗渠排水の整備によって地下かんがいが可能となり、水管理が容易となったほか、泥炭を基盤とした農地の保全への取組みも認められることなどから、完了に向けた事業の推進が望まれる。</p> <p>なお、事業の遂行にあたっては、周辺環境との調和に十分配慮するとともに、一層のコスト縮減に努められたい。</p>
今金南	<p>本事業は、水稲作を中心としつつ、新たな高収益作物の導入により農業経営の安定化を図ることを目的としている。本事業による区画整理と附帯する用排水路の整備は、安定した収量と品質の確保、耕作放棄地の発生防止に必要不可欠と認められる。</p> <p>地区内では、担い手の定着及び農地の利用集積が進んでいる。</p> <p>整備済みの大区画ほ場では、大型機械の導入に伴う作業時間の低減により、収益性の高い野菜を導入した複合経営が行われており、一部の畜産農家による発酵粗飼料（WC S）用稲の作付けも認められる。さらに、用排水路や暗渠排水の整備によって地下かんがいが可能となり、水管理が容易となったほか、泥炭を基盤とした農地の保全への取組みも認められることなどから、完了に向けた事業の推進が望まれる。</p> <p>なお、事業の遂行にあたっては、周辺環境との調和に十分配慮するとともに、一層のコスト縮減に努められたい。</p>

令和5年7月19日

北海道開発局農業水産部長 殿
(北海道開発局
国営事業管理委員会委員長)

国営事業評価技術検討会
委員長 長澤 徹明

令和5年度国営土地改良事業等事後評価結果について (答申)

令和5年7月13日付け北開局農計第65号により諮問のあった、令和5年度国営土地改良事業等事後評価結果について、別紙のとおり国営事業評価技術検討会意見を答申します。

令和5年度事後評価 国営事業評価技術検討会意見

地区名	技術検討会の意見
利別川左岸	<p>本事業の実施による排水機及び排水路の整備は、湛水被害の解消に伴う作物生産量の増加、農作業の効率化とともに、経営規模の拡大や農業所得の向上に加え、地域の防災・減災に寄与している。</p> <p>良好な農業生産基盤が形成されたことは、持続的な農業生産やスマート農業の推進が行われるなど、地域農業の振興にも貢献している。</p> <p>また、魚類等の生息環境に配慮した排水路整備は、水生生物の生態系を保全していると評価できる。</p>
空知川	<p>本事業の実施により、空知川頭首工の洪水流下機能が回復し、頭首工の倒壊による農業用水の供給停止や溢水による広域的な災害発生未然防止が図られたと認められる。</p> <p>また、頭首工の整備における魚道の設置は、魚類の生息環境の改善に寄与していると評価できる。</p> <p>農業用水の供給維持が図られたことは、経営規模の拡大や高収益作物の生産拡大につながり、持続的な農業生産やスマート農業の推進を促すなど、農業者の農業所得の向上と地域農業の振興にも貢献している。</p>